あおばちえのわ
地域の課題解決応援講座



＼災害の多い今こそ！／

自治会 町内会 の底力（ソコヂカラ）

～災害時に活きる人と人とのつながり～

2026年12月12日（土）10:00~12:30

青葉区役所　３階会議室

対象 青葉区内の自治会・町内会の運営に携わっている方

いざという時のために、いまできることは何か。
人と人とのつながりを切り口に、自治会・町内会の役割や地域づくりについて
みんなで考える講座です。

防犯!?
感染症流行!?
風水害!?
震災?!

第一部　事例紹介

地域の居場所づくりが育む「いざというとき」の支え合い

“防災”と“居場所づくり”を活動の両輪として取り組む自治会の実践例を紹介。
日頃のつながりが、災害時や困った時の支え合いにどう活かされるのか考えます。

第二部　すごろくワークで座談会



自治会・町内会って本当に必要ですか？

いざという時に助け合える地域であるために、自治会・町内会に求められるものは？
オリジナルのすごろくを使いながら、参加者同士で楽しく本音で語り合います。

第一部　事例紹介



三鷹市井の頭一丁目町会 会長　竹上　恭子　氏

東京都三鷹市で町会長10年目。「防災」と「居場所づくり」を両輪に、
多様な住民の力を引き出しながら活動を展開してきた。
現在は会長交代を見据え、町会をよりよい形で次の世代につなぐため、
町会のあり方を模索している。

第二部　すごろくワークで座談会



元六角橋自治連合会 会長（NPO法人まち×学生プロジェクトplus 理事長）
森　勤　氏

神奈川区六角橋自治連合会会長時代には、“自分たちの街は自分たちで創る”を
合言葉に世代を超えた地域づくりを実践。学生に目を向け
「まち×学生プロジェクト」を発足。現在は同団体の理事長を務める。



すごろくファシリテーションマイスター（NPO法人まち×学生プロジェクトplus 副理事長）
原島　隆行　氏

「まち×学生プロジェクト」を森氏と共に立ち上げたもう一人の立役者。
世代を超えて対話を生み出す“すごろくファシリテーション”の立案者でも
あり横浜市各所でワークショップを開催している。

防災訓練はしているけど、
それだけでいざという時
本当に動けるだろうか・・・



近頃、災害が多くて不安。
いざという時のために
今から何かできることは
ないだろうか・・・



自治会町内会だけでは
限界がある。
地域の人や団体ともっと
つながりたいなあ・・・



ひとりひとりの小さな
「困った(ピンチ)」にも
力になれたら
いいのになあ・・・



漠然とした不安がある。何かしなければと思うけれど、何をしたらいいのか・・・
そんな自治会・町内会の皆さま、ぜひご参加ください。

対象

青葉区内の自治会・町内会の運営に携わっている方　20名程度

参加料

無料（お気軽にご参加ください！）

お申込み

右記URLより、11月29日（日）まで

お申込みは
こちら

青葉区地域振興課地域力推進担当　☎045-978-2286　ao-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp